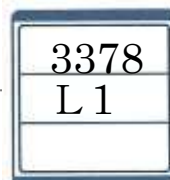


《参考図書を使ってものの値段を調べる！！》

参考図書 (reference book) とは…

特定の知識や情報について調べることができるものを参考図書とよんでいます。小説などとは違い、必要なところだけ読めば用が足りる、たとえば、事典、辞典・図鑑・年鑑・便覧・白書などです。

図書館では、これらの本は館内での利用のみとし、必要な時にいつでも調べられるようにしています。



『値段の明治・大正・昭和・風俗史』

週刊朝日編 朝日新聞社 1981年

昭和54年から58年にかけて「週刊朝日」に長期連載された人気企画を単行本にまとめたものです。ものの値段の推移が表になっています。また、各項目にはさまざまな分野で活躍する人たちのエッセイが数ページ添えられ、そのものにまつわる思い出なども語られています。たとえば、「ランドセル」では野坂昭如の神戸一中での思い出が書かれています。

他に「白米」「食パン」「コーヒー」などの食べ物、「葬儀料」「電話料金」「郵便料金」などの日常生活に係わる経費なども掲載されていたり、中には、「氷一貫目」「駅売りのお茶」「ポマード」「蚊帳」など、時代を感じさせられるものもあります。この本には、「続」「続々」「新」があります。

値段表だけをまとめた『戦後値段史年表』もあります。ここから戦後部分だけを抜き出し、新たなデータを加えたのが『戦後値段史年表』です。

『値段の明治・大正・昭和・風俗史』で調べてみました ①

問 最近、ランドセルはおしゃれになって値段も高いけれど、自分が使っていた頃のランドセルの値段はどのくらいの値段だったの？

答 東京で中級品1個当たりの小売標準価格
 昭和30年 … 2,500円
 昭和40年 … 3,600円
 昭和50年 … 10,000円

※参考 小学校教員の初任給
 昭和29年 … 7,800円
 昭和40年 … 18,700円
 昭和50年 … 81,104円

※大正3年～昭和56年の値段の移り変わりあり (『値段の明治・大正・昭和・風俗史』 続続)

『値段の明治・大正・昭和・風俗史』で調べてみました ②

問 昔のコーヒー1杯の値段は？

答 東京の喫茶店で飲むコーヒー1杯の平均値段

昭和30年 … 50円

昭和50年 … 230～250円

※参考 ラーメン1杯

昭和31年 … 40円

昭和51年 … 250円

※明治19年から昭和62年までの値段の移り変わりあり

～ こんな本でも調べることができます ～

『物価の文化史事典：明治/大正/昭和/平成』森永卓郎監修 展望社 2008年 [3378=N8]

明治から平成にかけての各品目の表と物価のうつりかわりの解説があります

この本によると、喫茶店で飲むコーヒー1杯の平均価格は、平成18年で416円とあります。

サブタイトルにあるように昭和からさらに平成までのうつりかわりがわかります。『値段の明治・大正・昭和・風俗史』とあわせて活用できます。

『全国物価統計調査報告』

総務庁統計局著・発行 [3378=L4] (書庫)

調べたい年の物価がわかります。過去の年度の報告書もあります。5年に1度発行。平成14年度まであります。

調べてみよう！！

- 昔、バナナは病気の時しか食べられなかったというけど、ほかのものとくらべてどれぐらい高かったの？
- 今の定期預金の利率はとても低いけれど、昭和の頃ってどうだったの？
- 大学の先生に「君たちはコーヒー1杯のお金は惜しまないのに、文庫本1冊買うお金は惜しむ」と言われました。岩波文庫1冊はむかし、コーヒー1杯の値段とくらべてどうだったの？



まずは、紹介されている参考図書を調べてみましょう。

中央図書館3階の「参考図書コーナー」へ！！

図書館の本は、本の背に内容がわかるよう分類のラベルが貼ってあります。

物価のことなら【3378】を探すといいですよ。

場所がわからないときは、カウンターの人にきいてくださいね。